

令和5年度第2回
大阪府市公立大学法人大阪評価委員会
議事要旨

- 1 日時 令和5年7月6日（木）午後1時30分～
- 2 場所 大阪市役所 屋上階（P1）会議室
- 3 出席委員（会場出席）浅田委員長、網代委員、奈良委員、原委員、槇山委員、南委員、吉川委員

4 議事内容

（1）公立大学法人大阪令和4事業年度及び中期目標期間終了時に見込まれる業務実績に関する評価について

- ・ 事務局から資料1-1から1-3、2-1、2-2に基づき、公立大学法人大阪の業務実績に関する評価、各年度終了時における業務実績評価実施要領、中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価の進め方、中期目標期間等に係る業務実績評価要領、審議スケジュールについて説明があった。
- ・ 法人から、資料3-1から3-3に基づき、令和4事業年度業務実績及び中期目標終了時に見込まれる中期目標の期間における業務実績並びにその自己評価について報告があった。
- ・ 事務局から資料3-5に基づき、事前の委員からの質問や意見を踏まえた各項目の論点に関する説明があった。
- ・ 説明をふまえ、法人との質疑応答、小項目評価についての審議が行われた。

<主な意見>

○「大阪公立大学」に関する小項目審議について（年度評価）

- ・ 「大学院課程教育の充実」（NO.2）
 - ・ 産学協働イノベーション人材育成協議会、文科省主導ジョブ型研究インターンシップ制度を利用した活動を展開していく中で、実際にインターンシップの実施が達成水準にいなかったが、それ以外については、達成水準は達成しているので、この達成水準に対する取組状況や実績から評価Ⅳを妥当とする。
- ・ 「課外活動支援」（NO.7）
 - ・ ボランティアセンターに登録している登録者数だけでなく、こういった活動にどれくらいの学生が取りくんでいるのか、それらの指標を達成水準にするなどについて検討されたい。
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績から評価Ⅳを妥当とする。
- ・ 「学生の健康支援」（NO.9）
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績から評価Ⅲを妥当とする。
- ・ 「入学者選抜」（NO.11）
 - ・ 多様な能力や個性をもつ優秀な学生の確保を図るため、高大接続・高大連携の取組を期待する。
 - ・ 入学者選抜の実施において、関西圏以外の入試試験会場を設けることなど、積

極的な取組を期待する。

- ・ 達成水準に対する取組や実績から評価Ⅳを妥当とする。
- 「大学の強みを活かした研究の推進」(NO.14)
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績から評価Ⅲを妥当とする。
- 「産業活性化」(NO.18)
 - ・ 産業活性化の貢献にむけて、さらなる産学官連携を期待する。
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績から評価Ⅲを妥当とする。
- 「研究における国際力の強化」(NO.21)
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績から評価Ⅲを妥当とする。
- 「大阪公立大学」に関する小項目審議について（見込評価）
 - 「課外活動支援」(NO.7)
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績見込から評価Ⅳを妥当とする。
 - 「キャリア支援」(NO.8)
 - ・ 公大、府大、市大の一体の取組として評価する。
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績見込から評価Ⅳを妥当とする。
 - 「研究力の強化」(NO.12)
 - ・ テニユアトラックワークショップについて、2023年度以降開催されることを期待する。
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績見込から評価Ⅳを妥当とする。
 - 「諸機関との連携」(NO.15)
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績見込から評価Ⅳを妥当とする。
 - 「生涯学習への貢献」(NO.17)
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績見込から評価Ⅳを妥当とする。
 - 「高度専門医療人の育成」(NO.24)
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績見込から評価Ⅲを妥当とする。
- 「大阪府立大学および大阪市立大学」に関する小項目審議について（年度評価）
 - 「質の高い教育の提供」(NO.34)
 - ・ 獣医師の国家試験合格率が全国平均を下回った原因の分析と今後の合格率の向上にむけた対策に継続して取り組まれない。
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績から評価Ⅲを妥当とする。
 - 「(府大) キャリア支援」(NO.41)
 - 「(市大) キャリア支援」(NO.43)
 - ・ 公大、府大、市大の一体の取組として評価する。
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績から評価Ⅳを妥当とする。
- 「大阪府立大学および大阪市立大学」に関する小項目審議について（見込評価）
 - 「(府大) キャリア支援」(NO.41)
 - 「(市大) キャリア支援」(NO.43)
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績見込から評価Ⅳを妥当とする。
- 「大阪公立大学工業高等専門学校」に関する小項目審議について（年度評価）

- ・ 「高専教育の質の向上と検証」(NO.27)
 - ・ 数理・データサイエンス・AI教育プログラムについては、社会から強く求められる重要な分野であることから、修得率の向上にむけて、更なる取組に努められたい。
 - ・ 今後に期待を込めて、評価Ⅱを妥当とする。

- 「法人」に関する小項目審議について（年度評価）
 - ・ 「理事長のトップマネジメント」(NO.44)
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績から評価Ⅱを妥当とする。
 - ・ 「ダイバーシティの推進」(NO.49)
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績から評価Ⅲを妥当とする。
 - ・ 「業務の効率化および適正化」(NO.52)
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績から評価Ⅲを妥当とする。
 - ・ 「戦略的広報」(NO.55)
 - ・ SNS を効果的に活用するなど、引き続き戦略的に取り組まれたい。
 - ・ ネガティブな問題への対応やリスクマネジメントも含め、大学ブランドの維持向上に努められたい。
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績から評価Ⅳを妥当とする。
 - ・ 「コンプライアンス等の推進」(NO.64)
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績から評価Ⅱを妥当とする。

- 「法人」に関する小項目審議について（見込評価）
 - ・ 「業務の効率化および適正化」(NO.52)
 - ・ 終了時評価においては、統合効果の発揮について具体的な取組を列挙することを検討されたい。
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績見込から評価Ⅲを妥当とする。
 - ・ 「戦略的広報」(NO.55)
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績見込から評価Ⅳを妥当とする。
 - ・ 「計画的な施設整備」(NO.56)
 - ・ 森之宮キャンパスの施設整備に関して、不発弾の発見により工事が中断となったことは、不可抗力とも言え、直ちに大学の努力が不十分であるとは言い難い。
 - ・ 森之宮キャンパスの施設整備に関する業務実績をもって、評価Ⅱとは言い難い。
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績見込から評価Ⅲと判断した。
 - ・ 「コンプライアンス等の推進」(NO.64)
 - ・ 達成水準に対する取組状況や実績見込から評価Ⅲを妥当とする。

以上